

## 9月の教育委員会主な行事予定表

日付	行事名	場所	担当課	連絡先
9月2日	生涯学習フェスティバル2023	前橋プラザ元気21内 中央公民館3階	生涯学習課	210-2198
9月11日、 21日、26日	「学習室スマホ教室」①、②、③ ※応募期間終了	アクエル前橋2階 高校生学習室	生涯学習課	210-2198
9月23日 ～10月2日	前橋ユネスコ協会 「私の住みたい夢のまち」絵画展	前橋プラザ元気21内 中央公民館3階	生涯学習課	210-2198
9月27日 ～12月28日	企画展示 「未来への道標 —前橋市史と前橋市議会史—」	図書館本館2階 展示室	図書館	224-4311
9月29日	市民天文教室 中秋の名月(スーパームーン)をみよう!	児童文化センター	教育支援課	224-2548

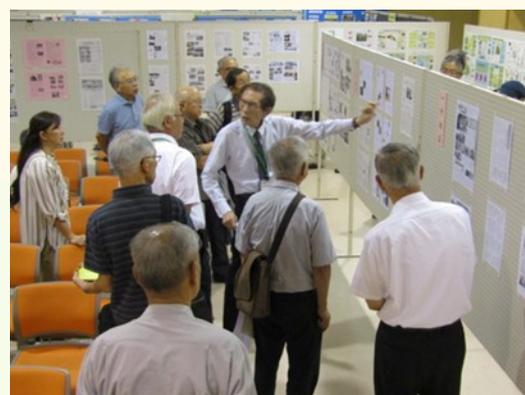
### 生涯学習フェスティバル2023開催!

担当:生涯学習課 連絡先:027-210-2198

生涯学習フェスティバル2023を4年ぶりに開催します。  
体験や展示のコーナーなど、子どもから大人まで楽しめる  
生涯学習の祭典にぜひお越しください。

- 【日時】 9月2日(土) 午前10時～午後3時30分  
【会場】 前橋プラザ元気21内 中央公民館 3階  
【内容】 ・各町の広報紙展示「わがまち広報紙まつり」  
・写真等で地域をPRする「わがまち紹介」展示  
・専修学校・各種学校コーナー  
・昔あそび・リサイクル工作ひろば  
・紙芝居・絵本の読み聞かせコーナー  
・「体験の風を起こそう」コーナー 缶バッジ作り  
・うちエコ診断・温暖化防止活動パネルコーナー  
・骨髄バンクコーナー

※各町の広報紙展示とわがまち紹介展示は9月8日(金)まで  
中央公民館3階で展示します。



前回開催の様子(2019)

# 臨時教職員の登録者を募集しています！

担当：学務管理課 連絡先：027-898-5817

前橋の子供たちのために働きませんか？

## 急募 臨時教職員登録者募集

前橋市内の小学校・中学校・特別支援学校に勤務する  
臨時教職員の登録者を随時募集しています

職種	資格
教諭・非常勤講師	小学校教諭免許状または 中学校教諭免許状
養護教諭	養護教諭免許状または 看護師免許
栄養職員	栄養教諭免許状または 栄養士免許
事務職員	必要な資格はありません

応募方法

応募フォームもしくはお電話にてお申し込みください。  
応募された方には、後日面接をさせていただき登録となります。

応募フォームはこちら



お電話はこちら **027-898-5817**

問い合わせ先 前橋市教育委員会事務局 学務管理課教職員係 TEL. 027-898-5817

「半世紀たった今でも、生徒思いだった先生の優しさが忘れられない。」

「小学生の時の感謝を一言でも伝えたくて、住所を調べて先生の家を訪れた。」

これらは、ある新聞の投書欄での一文です。子供にとって、先生にかけてもらった言葉や先生と一緒に過ごした思い出は大人になっても忘れられない一生の宝であり、先生は、子供にとってかけがえのない存在です。学校の先生の仕事には、そんな魅力があるのだと思います。

前橋市では、臨時教職員の登録者を募集しています。ご希望の方は登録をお願いいたします。

## ～教育長の想い 令和5年7月20日発行 前橋市学校教育広報から～

竹は節があるから成長できます。そして、人間にも節があります。人間の節は何で作られるのか。それは「感動」です。感動するたびに、人は節を作って、また、グイッと伸びるのです。

子どもは、様々なところで感動し、成長の節を自ら作っていきますが、親世代が子どもだった時よりも、実物に触れ、実際に自分が関わっていく直接体験は、圧倒的に減ってきています。「知る」ということと、「わかる」ということは別のことであり、知識を経験に落とし込むためには、疑似体験ではなく、自分の身をもって『体験すること』が何より大事なのです。

デジタル化が加速する一方で、価値観も多様化して、社会はますます複雑になっています。そのような時代に、私たちが目指すのは、互いの持つ異なる力を認め、互いの得意なことや強みを生かして、みんなが支え合う社会を築くことだと思います。そのためには、自分を信じて困難な状況に取り組む力、柔軟に思考する力、自分の良さに気づき、社会に貢献しようとする意志や人と人を結びつける力が求められます。その基礎は、幼いころのドキドキ・ワクワクやたくさんの『体験』によってできています。人が人らしく生きるために、『体験』することの大切さを今、ひしひしと感じています。

初めての出来事や大きな挑戦、喜びや感謝の瞬間など、感動は私たちに奮起させ、次なるステージへと進ませる力を持っています。子どもたちには、多くの体験や感動を通して、たくさんの節を持ち、しなやかで折れにくい竹のように成長してほしいと、切に願います。